

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

若手会員の会運営委員会 新委員長就任挨拶 および 第46回若手会員の会運営委員会報告

若手会員の会運営委員会委員長 高嶋 康人 (大阪大学)

Policy Speech of the New Chairman of the WELNET Steering Committee and
Minutes of the 46th Meeting of the WELNET Steering Committee.

1. 新委員長就任挨拶

平成24-25年度の若手会員の会運営委員会(以下、若手の会)の委員長を仰せつかりました、大阪大学の高嶋です。若手会員のネットワークづくりに力の限りつとめさせていただきますので、皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

寺崎前委員長より、これまで若手の活動をリードして実績を残されてきた現在40歳前後の世代から、私を含む30歳前後の世代へバトンをいただきました。そのバトンは次のような3つのバトンです。その内容を、私の抱負を交えてまとめてみました。

(1) 若手研究会と見学会等による交流・ネットワーク形成

研究会・見学会を地方にて開催し、若手会員間での研究交流・情報交換の場として活用しています。今後も可能な限り地方支部・協会とも連携させていただきながら、若手会員の交流を活性化したいと願っています。特に、開催地の地元企業・地元溶接コミュニティにもご参加いただいて、若手会員との出会いを通じて溶接学会へ新たに仲間入りされる契機となる場を提供したいと考えております。

(2) 全国大会での若手向け企画

全国大会のイブニングフォーラムでは、春には若手研究者・技術者向けのホットな話題を企画・提供しています。専門的な内容の一般セッションとは異なり、若手ならではの自由で楽しい内容を企画できるよう取り組みたいと思っています。早速、春の大会では「海外留学・海外勤務の経験を聴く」というテーマで企画し、おかげさまで講演者の充実したお話により多くの参加者楽しんでいただき盛況でした(このイベントについては次号の自由編集ページで詳しくご報告いたします)。引き続き、ユニークな企画を開催していきたいと考えております。

また、秋の大会ではポスターセッションを開催し、若手会員や学生会員の研究発表・情報交換の場を提供しています。今後は、若手に限らず多くの会員に参加いただけるような場とすべく、さらなる活性化を目指して積極的に企画運営を進めてまいります。

(3) 学会誌やWebを通じた情報発信・広報活動

学会誌の記事や若手Webサイトで広報活動に取り組んでいます。この若手自由編集ページをはじめ、「若手スポットライト記事(溶接タマゴ・私の溶接履歴)」、「じょうほう通」の担当を通じて、上記(1)、(2)の活動

報告や若手会員の活躍を発信いたします。さらには話題のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した新しい取組みにも挑戦を始めたいと思っています。

以上の3つのバトンを3本柱にして、若手会員の活躍の場を支えていけるよう運営させていただきたく所存です。

若手の会の魅力は、専門分野をまたいだ気軽な交流の場であると思っています。「若さ」を武器に、恥を気にせず互いに意見を交わし合う、夢を語り合うことのできる仲間をつなぐことが大切に思います。若手会員間の自由な発想で溶接分野の研究者・技術者の交流を図り、将来の日本社会を支えるチームづくりが、この活動をきっかけとして生まれることを夢見ています。

今後とも、学会員の皆様、若手の会オブザーバである諸先輩方にご理解ご協力いただきながら、運営委員で力を合わせて活動していきたいと思っています。これから、どうぞよろしく願いいたします。

2. 第46回若手会員の会運営委員会報告

去る4月11日（水）、平成24年度春季全国大会の開催にあわせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。新委員長を含む幹事委員の承認や、平成23年度の会計報告、平成24年度の活動予定等に関して審議・報告がなされました。以下に主な内容をお知らせ致します。

日時：平成24年4月11日（水） 11:50～12:50
場所：アジア太平洋トレードセンター 0's 南6階 B3会議室
出席者：委員長、副委員長ほか運営委員、計20名

2.1 平成23年度下期会計報告

門井委員（当時会計幹事、現 副委員長）より平成23年度の会計報告がなされた。

2.2 平成24-25年度委員長の承認

寺崎前委員長より平成24-25年度の運営委員長に高嶋委員を推薦する旨が提案され、運営委員会で承認された。これまでの運営に対する協力等に関する感謝の意が寺崎前委員長より述べられた。また、委員長・高嶋より今後の活動における抱負等が述べられた。

2.3 平成24-25年度の幹事担当について

委員長・高嶋より平成24-25年度の幹事委員につい

での推薦があり、運営委員会で承認された。決定した幹事担当を以下に示す。

委員長：高嶋 康人（大阪大）
副委員長：門井 浩太 氏（広島大）
山崎 洋輔 氏（日立造船）
会計：野村 和史 氏（大阪大）
編集：藤井 啓道 氏（東北大）
山崎 圭 氏（神戸製鋼所）
ML・広報：三上 欣希 氏（大阪大）
全国大会イベント：
尾崎 仁志 氏（三重大）
荻原 寛之 氏（大阪大）
門 格史 氏（広島県立総合技術研究所）
柿内 茂樹 氏（富山県工業技術センター）
岡田 徹 氏（住友金属工業）
木坂 有治 氏（新日鉄エンジニアリング）
松本 直幸 氏（IHI）
日韓交流：寺崎 秀紀 氏（大阪大）
西川 宏 氏（大阪大）
瀬知 啓久 氏（鹿児島県工業技術センター）
松原 敏夫 氏（徳島県立工業技術センター）

2.4 若手の編集委員と全国大会運営委員について

昨年度まで、編集委員会の若手担当と若手の会の編集幹事を分担していたが、平成24年度より編集幹事が学会編集委員となることが報告された。また、全国大会運営委員会においても、若手の会の全国大会イベント幹事が運営委員として参加すること（平成24年度は荻原委員）を報告した。

2.5 平成24年度全国大会秋季大会イブニングフォーラムの運営について

委員長・高嶋より、秋季全国大会にてポスターセッションを開催する旨が報告された。今後、若手会員や学生会員の積極的な発表参加を促すため、開催告知方法を見直すことや、セッション前にもポスターの展示を行うなどに新しく取り組むことが報告された。また、ポスター賞の表彰方式についても議論がなされ、今後の取組みとして引き続き検討することになった。このような内容は翌日に開催された全国大会運営委員会でも幹事委員より報告した。

2.6 平成 24 年度の若手研究会・見学会について

委員長・高嶋より、岡山県にて開催する準備を進めていることが報告された。地元の企業や溶接コミュニティから多くの参加者を募るために公開型の研究会とするべきとの議論があった。開催方法については、若手の会運営メーリングリスト等を通じて議論を続け、学会や若手の会の Web サイトで周知することになった。

以上、委員長を引継いでのキックオフとなった運営委員会のご報告でした。これまでの活動を継承しつつ、新

しい取り組みにも着手しています。

今後とも、若手会員の会の活動に幅広いご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

若手会員の会イベント予告

秋季全国大会にて、恒例の若手ポスターセッションを開催いたします。現在の予定を次の通りお知らせいたします。

平成 24 年度秋季全国大会イブニングフォーラム

「若手の研究ポスターセッション」

日 時：平成 24 年 9 月 27 日（木）

場 所：奈良文化会館 多目的室

参加費：無料（ただし、全国大会への参加が必要）

この詳細は、第 81 巻 6 号の WELNET 自由編集ページにてお知らせする予定です。

また、若手研究会・見学会を岡山県にて 7 月頃に開催する予定です。詳しい情報は学会 Web サイトなどでお知らせいたします。多くの方にご参加を検討いただけますよう、お願い申し上げます。このイベントの報告は学会誌の第 81 巻 7 号（10 月発刊）にて掲載を予定しています。

読者の **Goiken-bako**（御意見箱）受付中！ 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送または FAX でお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号 1 名様に特製テレホンカードまたは Quo カードを差し上げます。

◆送付先： 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係 FAX:03-5825-4331
〒 101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 (Subject に "Goiken-bako" と御記入ください)
溶接会館 6F

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名、フリガナ、年齢、溶接学会入会年、所属、住所（テレホンカードなど送付先）
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。（ ）
- (3) 「自由編集ページ」についての御意見・御感想。
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事（ページ番号でお答えください）。
- (4-2) 今月の溶接学会誌についての御意見・御感想。
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事。
- (6) その他、若手会員の会、溶接学会の各種活動についての御意見・御感想。